

東京電機大学大学院 先端科学技術研究科 平成27年度 講義要目(シラバス)

|      |                                       |
|------|---------------------------------------|
| 科目名  | 生命工学先端演習                              |
| 英文名  | Advanced Practice on Life Engineering |
| 学部学科 | 先端科学技術研究科 物質生命理工学専攻                   |
| 配当学年 | 1・2・3年次                               |
| 開講時期 | 通年                                    |
| 単位数  | 4.0                                   |
| 必選区分 | 選択                                    |
| 担当者名 | 村勢 則郎                                 |

|                 |  |
|-----------------|--|
| 目的概要            | 1・2・3年次を通して、生命工学の中でも低温生物学およびその工学的応用分野に関連する高度な学理を習得し、将来の研究活動を展開するために求められる知識、手法を身につけ、担当教員の指導の下、十分な応用力を養うことを目的とする。  |
| 教科書名            | 特に指定しない。   |
| 参考書名            | 特に指定しないが、適宜紹介する。   |
| 評価方法            | Cryobiology, CryoLetters, 低温生物工学会誌など、関連する学術誌にある研究論文内容の理解度、紹介の仕方、研究成果のプレゼンテーションにおける発表内容、態度、質問に対する対応を総合的に評価する。   |
| テーマ・内容          | <p>生物中の水の動態や役割に視点をあつた低温生物物理化学、生物モデル系としての高分子ゲル中の水の研究、生物ガラスの研究、生物資源や食品の凍結や乾燥保存に関する研究などを研究対象とする。</p> <p>水の特異性や生物中の水の動態に関する理解を出発点に、具体的な研究テーマを決定し、研究に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文献検索などにより関連する研究動向の把握</li> <li>研究の視点、アプローチの明確化</li> <li>実験計画の作成</li> <li>実験によるデータ収集</li> <li>実験データの整理、解析</li> </ul> <p>研究成果の発表(論文、学会発表)を通して、研究をまとめる。</p> |
| E-Mail address  | <a href="mailto:nmurase@mail.dendai.ac.jp">nmurase@mail.dendai.ac.jp</a>   |
| 履修上の注意事項・学習上の助言 | 質問等は随時可であるが、予め質問のポイントを明確にしておく習慣を身につけるように心掛けること。  |